

きららだより

1月号

—第68号—

平成23年12月25日発行

社会福祉法人 城端福祉会



あけまして
おめでとうございます

辰

2012



きららの
年男さん・年女さん
大集合!!!!



施設長
向川正憲

新年明けましておめでとうございます。皆様おそろいで、良き年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私は、昨年10月1日から奥野施設長の後任として「きらら」の施設長を拝命いたしました。前施設長は、スプリンクラーの設置を始めとする諸々の設備改修や、各種規則等の見直しに積極的に取り組んでこられました。志半ばにして病に罹られました。奥野氏の意を引き継ぎながら、私なりに責務に邁進する覚悟でありますので、「きらら」に対しまして変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

ところで今年の干支は辰ですね。辰は龍ともいわれ、12支で唯一架空の動物ですが、龍にあやかって景気もぐんぐん上昇する良い年になって欲しいものだという希望を抱いているのは、私だけではないでしょう。

さて「きらら」は、平成6年4月にオープンしてから18年となります。この間、いろいろと設備の改善・修理を繰り返しながら、利用者の皆様により良いサービスが提供できるように努力してまいりました。しかしながら、当施設は24時間、365日営業のため、一般の事務所ビルに比較して機械設備の運転時間が長く、劣化の進行が急速になっております。特に空調設備の老朽化が激しく、この更新が早急な懸案事項です。また、デイサービスセンターの浴室周りや便所に関しても、利用者の方からいろいろな要望が出されております。

本年はこの問題解決に、法人役員さんとの協議を密にしながら、職員一同知恵を絞りたいと考えております。

当然ながら「きらら」の事業は、装置産業ではなく人的要素の方が大事だと心得ており、各種研修会への派遣や外部講師の招聘などに積極的に取り組み、職員の資質向上に一層傾注してまいりますので、今年もよろしくお願ひ申し上げます。

満百歳 おめでとうございます



南部 いと様

平成23年9月18日(日)きらら食堂にて敬老会が行われました。前号では米寿の方6名を紹介しましたが、今回は百歳の方を紹介します。

長寿の秘訣を聞きました。「遊んで、ご馳走食べて」と、職員を笑わせて下さるユーモアな一面もお持ちでした。

今年数え百歳を迎えられた3名の方々は自宅でお祝いされました。ご家族に囲まれ、昔話に花を咲かせてられました。

ひやりはっと通信 1

ショートステイ利用者Y氏(認知症)を自宅へ送迎した時の出来事です。

走行中の車内、突然Y氏はドアに手を伸ばし、開けようとしてきました。

念のため発車時にロックを掛けていたので大事には至らなかったのですが、ロックが掛かっていなかったら・・・と思うと、大変“ひやり”としました。

「うちのお婆ちゃんは大丈夫」ではなく、シートベルトは勿論のこと、この機会にドアロックの必要性も伝えられたら嬉しいです。

きららデイサービスセンター

手仕事のあたたかさを感じて

外出レクリエーション ～ささら屋工場見学へ～

10月下旬、昨年に続き2度目の“ささら屋工場見学”を企画しました。福光のおかき工場の見学です。1週間に渡り希望された21名の方が参加されました。

工場は年末のお歳暮シーズンを目前に餅をつく、のす、冷却や乾燥、そして焼く・・・の工程で沢山の機械がフル稼働していました。工場と言えども工程は手作りそのものです。

手焼きコーナーでは自分で焼いたせんべいをアツアツで食べる事もできました。「良いものを見せてもらった」「欲しいおかきが沢山買えた」と、満足の感想をいただきました。



～しめ飾り作り～



新年を迎える時に欠かせないのが、各家庭に飾る“しめ飾り”ですが、そのしめ飾りを利用者が製作されました。わらを打つ、左ないで縄をなう、形を整える、飾りを付けるの工程を秋先からこつこつと行ってきました。

これぞ正に“手仕事”ですよ。職人のような手さばきに私たち職員は、ただただ感心するばかりでした。



厨房から こんにちは

高齢者の毎日の食事に気をつけよう！

①多くの食品を摂りましょう。

規則正しい生活をして、3食きちんとバランスよく栄養を摂りましょう。主食は中くらいの茶碗で1杯程度。おかずは具沢山の煮物、具沢山みそ汁など工夫しましょう。

②水分を摂りましょう。

人間の身体は、体重の約2/3が水が占めており、年齢と共に体内の水分を蓄えておく筋肉量も減少していきます(乳幼児は約70～80%、成人男性は約55～60%、高齢者は50%)。また、水分は体重の15%以上失われると生命の維持に危険が出てきます。

【1日に必要な水分量：約1500ml～2000ml】

食事中では、汁物も含めると約1000mlの水分を摂取できるため、不足分は飲料水などで摂取しましょう。上手な水分摂取の方法として、3食の他にも午前・午後・起床時・就寝前・入浴後など、小分けに飲むと無理なく摂取できると思います。

体内の水分量



乳幼児:約70～80%



成人男性:約55～60%



高齢者:50%台

高齢者は水分を蓄えておく筋肉量が少ないため、体内の水分量が成人よりも低くなる。

